

高圧ガス製造設備保安検査点検表(液石則第7条関係・第2種製造設備)

1. 事業所概要

事業所名称											
事業所所在地		〒									
許可年月日・番号		年		月		日		第		号	
処理能力		Nm ³ / 日									
製 造 設 備	容 器	容 量 数	kg 基		kg 基		kg 基		kg 基		
		容器検査	年		月		年		月		
設 備	処 理 設 備	名 称									
		処理能力	Nm ³ / 日		Nm ³ / 日		Nm ³ / 日		Nm ³ / 日		
		開放検査	年		月		年		月		
保安検査		年		月		日		氏名		印	
協会指導		年		月		日		氏名		印	
立会者		保安検査		氏名		印		協会指導		氏名	

2. 記録簿

危害予防規程	S・H・R			年		月		日		認 可 ・ 届 出		有 ・ 無	
保安教育計画	保安教育計画書		S・H・R		年		月		日		有 ・ 無		
	今年度の策定状況		有 ・ 無		適 ・ 否								
定期自主検査	自		年		月		日		実施者				
	至		年		月		日						
申請書類等の整備	適 ・ 否		日常点検		適 ・ 否								
基準類の整備状況	適 ・ 否		受払記録		適 ・ 否								
設備台帳補修記録	適 ・ 否		充填記録		適 ・ 否								
保安教育実施記録	有 ・ 無		容器底部検査記録		適 ・ 否								
周知書面交付記録	有 ・ 無												
防災訓練実施記録	有 ・ 無		実 施 日		年		月		日				

3. 保安管理組織

保安統括者	職 名 :	同代理者	職 名 :
	氏名 :		氏名 :
保安係員	氏名 :	同代理者	氏名 :
	免状 :		免状 :
	講習 : H・R		講習 : H・R
	年		年

* 「結果」欄以外は検査前に必ず記入しておくこと。

4. 定置式製造設備に係る技術基準(液石則第7条関係)

(1) 製造設備等

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
1. 境界線 警戒標	目 視	製造事業所 境界線の明示 : 有 : 無 警戒標の設置 : 有 : 無	適 不適	第6条第1項第1号 例示基準1
2. 設備距離	計 測 目 視	第1種設備距離 : 法定 m、実測 m 第2種設備距離 : 法定 m、実測 m	適 不適	第6条第1項第2号
3. 障 壁 4. 距離の 緩和	目 視 試 験 記 録	障 壁 : 高 さ m × 厚さ cm 水噴霧装置 : 毎分 7 L/m ² L/m ²	適 不適	第6条第1項第3号 第6条第1項第4号 例示基準2, 3
7. 火気取扱 施設との距離	計 測 目 視	法定距離 : 8 m 実測 m 流動防止装置 : 有 ・ 無 流動防止装置の種類 : ()	適 不適	第6条第1項第7号 例示基準8
12. 滞留防止 措 置	目 視 記 録	2方向以上の開口部又は換気装置 有 ・ 無	適 不適	第6条第1項第12号 例示基準11
13. 気密構造 18. 気密試験	試 験 目 視	製造設備は常用以上の圧で漏えいしない。 試験圧力 : MPa 使用ガス名 :	適 不適	第6条第1項第13号 第6条第1項第18号 例示基準15
14. 材料規制	目 視 記 録	安全な化学的成分及び機械的性質を有するものであること	適 不適	第6条第1項第14号 例示基準12
17. 耐圧試験	目 視 記 録	製造設備は常用圧力の1.5倍以上の圧で漏えいしない。 試験圧力 : MPa 高圧ガス設備の開放検査結果 : 適 ・ 否	適 不適	第6条第1項第17号 例示基準15
19. 肉厚計測	計 測 記 録	記録の保存 : 有 ・ 無 計測年月日 : 年 月 日	適 不適	第6条第1項第19号 例示基準16
21. 圧 力 計	目 視 記 録	比較テストを行い、記録を保管すること。 最高最低圧力の表示 : 有 ・ 無 有効年月日の表示 : 有 ・ 無 試験年月日 : 年 月 日	適 不適	第6条第1項第21号 告示第7条 例示基準17
22. 安全装置	試 験 記 録	安全弁等の作動テストを行い、記録を保管すること。 吹始圧 : 設定圧力の90%以上100%以下 吹止圧 : 設定圧力の80%以上	適 不適	第6条第1項第21号 告示第7条の2 例示基準17
23. 放 出 管	目 視	その他の高圧ガス設備 : 建築物、工作物以上 開口部レインキャップ : 有 ・ 無 開口部付近の着火源 : 有 ・ 無	適 不適	第6条第1項第22号 例示基準18
28. 電気設備	目 視 記 録	防爆性能が適切であるか	適 不適	第6条第1項第27号
30. ガス漏洩 検知警報 装 置	試 験 記 録	個 数 : 点 月例点検記録 : 有 ・ 無 作動状況 : テストガス 濃度 % 応答時間 : 30秒 秒 ~ 秒 外部発報 : 有 ・ 無	適 不適	第6条第1項第29号 例示基準24

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
31. 静電気除去装置	目 視 試 験	接地抵抗値：総 合 100 ボンディング：有 ・ 無 損傷の有無、接続の状況：適 ・ 否	適 不 適	第 6 条第 1 項第30号 例示基準25
32. 防火設備	目 視 試 験	水源の保有量：必要量 m ³ 実測 m ³ 散水量：適 ・ 不適 操作位置：事務所・従業員控室等及び () 2 力所以上 月例点検：有 ・ 無	適 不 適	第 6 条第 1 項第31号 例示基準26
32. 消火設備	目 視 試 験	消火器の設置個数： 個 定期点検：有 ・ 無 消火栓設置：有(個) ・ 無	適 不 適	第 6 条第 1 項第31号 例示基準26
33. 保安電力	目 視 試 験 記 録	保安電力の種類：適 ・ 否 () 定期検査記録：有 ・ 無	適 不 適	第 6 条第 1 項第32号 例示基準27
34. 通報設備	目 視	通報設備の種類： () 通報設備の作動状況：適 ・ 否	適 不 適	第 6 条第 1 項第33号 例示基準28
35. バルブ 誤 操 作 防 止 措 置	目 視	バルブの開閉方向、状態：有 ・ 無 流体の種類、方向：有 ・ 無 安全弁元バルブの封印等：有 ・ 無 適切な足場、照度の確保：有 ・ 無	適 不 適	第 6 条第 1 項第34号 例示基準29
高圧ガス 設備の基礎	目 視	高圧ガス設備の基礎は、有害なひずみが生じないものであること。	適 不 適	第7条第1項

(2) 容器置場 (面積: m²)

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
36. 警 戒 標	目 視	範囲の明示：有 ・ 無 警戒標の設置：有 ・ 無	適 不 適	第 6 条第 1 項 第35号のイ 例 1
37. 置場距離	計 測 目 視	第 1 種置場距離：法定 m、実測 m 第 2 種置場距離：法定 m、実測 m	適 不 適	第 6 条第 1 項 第35号のハ
38. 障 壁	目 視	有 ・ 無 (高さ cm × 厚さ cm)	適 不 適	第 6 条第 1 項 第35号のニ 例 2
39. 屋 根	目 視	充てん容器置場の屋根は、不燃性又は難燃性で軽量であること。	適 不 適	第 6 条第 1 項 第35号のホ 例30
40. 滞留防止 措 置	目 視	2 方向以上の開口部があること。	適 不 適	第 6 条第 1 項 第35号のヘ 例11
41. 消火設備	目 視	設置個数： 個、定期点検 適 ・ 否 (最小B-10消火器 2 個以上、10tにつき 1 個以上)	適 不 適	第 6 条第 1 項 第35号のチ 例26
参 考		充填容器と残ガス容器の区分：有 ・ 無 整理整頓(不要なものの有無)：有 ・ 無 2 m以内の引火性、発火性、火気等：有 ・ 無 温度計の有無：有 ・ 無 転倒、転落防止措置：有 ・ 無 作業心得：有 ・ 無 充填機： 連 × 台、 連 × 台 転倒台： 連 × 台		第 6 条第 2 項第 7 号 のイ 口 ハ ニ ホ 例示基準40,41

5. 氣密試驗結果

漏 洩 : 有 ・ 無	処 置 : 済 ・ 否 (処置者 :)
漏洩箇所 :	

6. 指示、指導事項

[illegible]